

令和3年7月7日

すずかけ台キャンパスに勤務する教職員 各位

（大岡山キャンパスの教職員がすずかけ台キャンパスに来ることもあるため、全教職員に送付しています）

副学長（地区安全管理担当） 湯浅 英哉
すずかけ台地区部局長等懇談会主査 大竹 尚登
すずかけ地区安全衛生委員会委員長 原 亨和

すずかけ台キャンパスにおける土砂災害（特別）警戒区域について（通知）

7月3日（土）に熱海市で発生した土石流で甚大な被害が出ているところですが、添付のとおり、本学すずかけ台キャンパスについても、土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の指定を受けている箇所が複数あること、また、令和3年5月20日より、避難指示などの政府の基準が変更となっておりますので、情報提供いたします。

1 神奈川県土砂災害警戒区域及び特別警戒区域に指定されている場所

添付の資料の赤及び黄色の部分が、土砂崩れが発生しやすいとされているところです。例えば、R3-B棟及びC棟や、B1・B2-A、B及びC棟の裏山などです。

各自ご自身の居室や研究室のある建物が、土砂災害（特別）警戒地区の指定を受け、土砂災害の被害を受ける可能性があるか、また、どのあたりが土砂災害の発生の危険箇所かをご確認ください。

2 避難指示など災害の警戒レベルの基準の変更について

災害発生の危険度ととるべき行動を示す警戒レベルに関しては、添付のように、1～5までに分類され、警戒レベル4は、「避難指示レベル」となります。（政府の基準が変更となり、「避難勧告」が廃止され、「避難指示」となりました。）「避難指示」が出ましたら、危険な場所から全員避難してください。

また、前出の熱海市の土石流は、警戒レベル3の「高齢者等避難」で起きていることから、土砂災害警戒区域（黄色）がかかっている建物については、行政の判断によらず、大雨の予報や台風の接近など危険が予見される場合は、早めに退避し、建物にとどまらない等の判断をお願いします。

台風や大雨の際には、大学からの避難指示等がなくても自らの身は自らが守る精神で、ニュースなどにより情報を得るよう努め、横浜市より避難指示（警戒レベル4）が出た場合には、速やかに帰宅するか、帰宅が困難な場合には、安全な場所へ避難する等身の安全を図る行動をとっていただくようお願いします。併せて、指導学生等についても、帰宅を促す或いは、安全な場所への避難させる等安全確保いただくようお願いいたします。

土砂災害警戒情報などは、横浜市の防災情報Eメール（要事前登録）、横浜市防災ツイッター等でも配信されていますので、ぜひご活用ください。

なお、R3-B棟及びC棟については、特に大規模な土砂災害が予想される場所として横浜市が指定している200か所のうちの一つとして指定されており、土砂災害の危険が迫っている場合には、避難状況を横浜市に報告するように指示を受けております。7月3日(土)にも横浜市から避難指示が発令されたため、当該建物については、無人であることを守衛が確認し、建物を封鎖の上、横浜市に報告しています。

被災の可能性のあるすべての建物が無人であることの確認を教職員が行うことは困難であり、夜間・休日に大学の教職員が出勤して避難指示を出したり、立ち入り禁止のテープを張ったりするなどの対処を行うのは、教職員の安全確保の観点からも避ける必要があることや、最近の豪雨は局地的であることがあることから、その場にいる一人一人が、自分の身を守るという観点で、情報収集と速やかな避難をお願いすることをご理解ください。

【参考情報】

神奈川県土砂災害情報ポータル－日本語のみ

<https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>

土砂災害から身を守るには（首相官邸）－日本語のみ

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/doshyasaigai.html>

土砂災害から身を守る3つのポイント（政府広報オンライン）－日本語のみ

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201106/2.html#anc03>

避難情報に関するガイドライン（内閣府）

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/evacuation_en.html

横浜市防災情報Eメール－日本語のみ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/bosai/e-mail/>

横浜市防災ツイッター－日本語のみ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/bosai/twitter/twitter.html>

Helpful Apps and Websites in the Event of Disaster (Multilingual)

http://www.bousai.go.jp/kokusai/web/index_en.html

Disaster Mitigation Points for Foreigners

http://www.bousai.go.jp/kyoiku/gensai/pdf/poster_A3_y.pdf

本件担当：

すずかけ台総務課

すずかけ台安全管理グループ

山本・平野・大塚

suz.anzen@jim.titech.ac.jp

横浜市緑区



- 特別警戒区域・急傾斜(指定済)
- 警戒区域・急傾斜(指定済)
- 特別警戒区域・地すべり(指定済)
- 警戒区域・地すべり(指定済)
- 特別警戒区域・土石流(指定済)
- 警戒区域・土石流(指定済)
- 特別警戒区域・急傾斜(調査済・未指定)
- 警戒区域・急傾斜(調査済・未指定)
- 特別警戒区域・地すべり(調査済・未指定)
- 警戒区域・地すべり(調査済・未指定)
- 特別警戒区域・土石流(調査済・未指定)
- 警戒区域・土石流(調査済・未指定)
- △ 市区町村境界

(利用している地図について)

本サイトで利用している地形図は、国土地理院長の承認を得て同院発行の数値地図200000 (地図画像) 及び数値地図50000 (地図画像)、数値地図25000 (地図画像)、数値地図25000 (空間データ基盤) を複製したものです。(承認番号 平21総複、第883号, 平17総使、第321号)

※国土地理院の地図のためキャンパス内の地図は古いものであるが、神奈川県が出している最新の情報である。

令和3年5月20日から

ひなんしじ

避難指示で必ず避難

警戒レベル

4

ひなんかんこく

避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！**

**避難勧告は廃止されます。**  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。**

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。**



Scan to get this information in your own language.

English	简体中文	繁體中文	한국어	Español
Português	Tiếng Việt	ភាសាខ្មែរ	ภาษาไทย	ភាសាខ្មែរ
Tagalog	Bahasa Indonesia	नेपाली भाषा	Монгол хэл	QR Translator





ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけ  
が避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



### 行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの

・マスク  
・消毒液  
・体温計  
・スリッパ 等



### 安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難  
することを相談して  
おきましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。

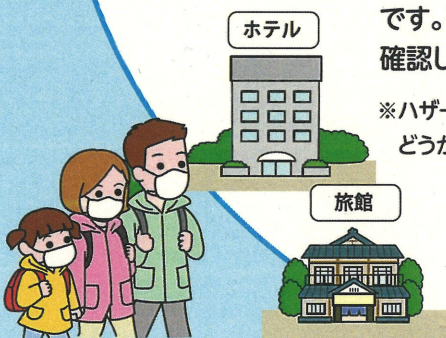


普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

### 安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



### 屋内安全確保

ハザードマップで以下の  
「3つの条件」を確認し  
自宅にいても大丈夫かを  
確認することが必要です。

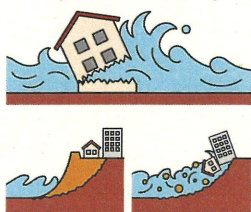
想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある  
区域では立退き避難が  
原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります

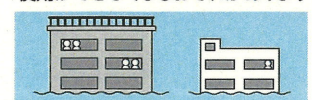
地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

- ② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

- ③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。